

私の治療カルテ

—大腸連携パス—

(術後フォローアップ)



堺市医療圏がん診療ネットワーク協議会



大阪府がん診療連携協議会

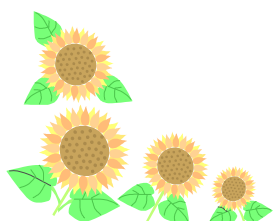
はじめに

『連携パス』とは、地域のかかりつけ医と堺市立総合医療センターの医師が、あなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。『連携パス』を活用し、かかりつけ医と堺市立総合医療センターの医師が協力して、あなたの治療を行います。

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は堺市立総合医療センターが行いますので、ちょっとしたケガや日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。必要に応じて堺市立総合医療センターを受診していただきます。

緊急を要する場合で休日や夜間等かかりつけ医を受診できない場合は、堺市立総合医療センター（Tel072-272-1199）までご連絡ください。

この『連携パス』を活用することで、堺市立総合医療センターと地域のかかりつけ医とが協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとっても長い待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、ご自身の治療計画や経過の把握、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットにもつながります。





もくじ

 退院後の日常生活 : p.3

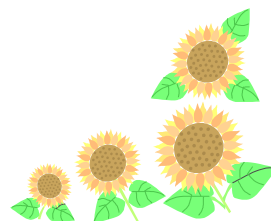
 退院後の食生活 : p.4

 退院後もこれだけは忘れずに :
p.5 ~ p.6

 大腸がん術後連携パス : p.7 ~ p.10

 メモ : p.11 ~ p.12

 堺市立総合医療センターの各部署
担当等のご案内 : p.13 ~ p.14



退院後の日常生活

手術後におこりやすい症状について

大腸を切り取ったために栄養吸収や食事摂取量の低下、それらに伴う体重減少などのトラブルはほとんどありません。しかし、多くの場合術後1～2ヶ月でやや軟便の状態となることが多いですが、ときに便秘気味になる場合があります。

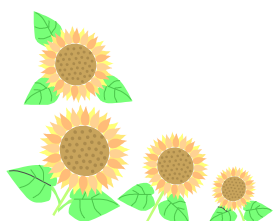
一方、直腸を切除した場合には、便をためる能力と便を押し出す能力が低下するため、排便の回数が増加したり、1回の便量が減少したり、残便感などの排便機能障害をきたします。

また、小腸や大腸の癒着（ゆちゃく）により、内容物の通過不良が生じ、腹部の膨満を感じたり、あるいはひどくなると腸閉塞（ちょうへいそく）となる場合があります。

これらの症状は、多くの場合食事療法や下剤や消化薬でコントロールすることができ、術後一定の期間がすぎると生じにくくなります。

社会復帰に向けて

社会復帰が可能となる時期は、年齢や体力、社会的状況、仕事内容、手術術式などにより異なりますので、個々の状況に応じて対応すべきです。ひとつの目安としては、退院後の仕事内容が主にデスクワークであれば術後1ヶ月程度で、腹筋をよく使う運動や仕事であれば術後2～3ヶ月くらいを目処に社会復帰が可能と考えます。



退院後の食生活



食生活に注意して

原則的には、食事の種類に制限はありません。つまり、何を食べてもかまいませんが、食物繊維が多く含まれているものや消化しにくいものは、腸閉塞の原因となることがありますので、術後3ヶ月は控えたほうがよいでしょう。

最も基本的なことは、おいしく、ゆっくり、楽しく、食べることです。次のことに留意して、規則正しく、バランスの良い食事を心がけましょう。また、ほどほどならアルコールを飲むことも可能です。



注意した方がよいおなかの症状について

便秘に対しては、水分や食物繊維を多くとり、生活のリズムを整え、適度な運動を行い、規則正しい食事と排便の習慣をつけましょう。食事・生活習慣に注意しても便秘が続く場合、下剤が必要となりますので、担当医に相談しましょう。

下痢の場合は、消化の良い食品をとり、水分を制限せずに、むしろ補いましょう。少量ずつの食事を、回数を増やすことで、消化管の負担を軽くしましょう。

頻便の場合は、生活のリズムを整え、食事時間を規則正しくしましょう。過労は禁物です。

腹部膨満感に対しては、1回の食事量を控えるように心がけましょう。それでも治らなければ、一度、食事をやめましょう。食事をやめても腹部膨満が続く、排ガスのない場合は腸閉塞が疑われます。担当医にすぐに相談しましょう。



退院後もこれだけは忘れずに！

🔔 定期的な診察や検査に行きましょう

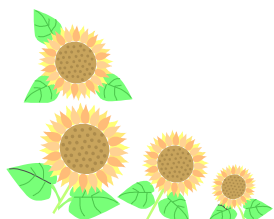
術後**5年**を目処に、定期的な診察や検査を行います。
診察や検査の間隔は、手術後の状態によって違いますから、
医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるよう
にしてください。なお、定期検査は大腸がんを対象として
いるものです。他の病気をカバーするものではありません。



定期的な診察
や検査を

🔔 術後補助化学療法について

手術によりがんを切除できた場合でも、リンパ節転移が
あった場合に、再発率が高くなることが知られています。
このような場合、手術を行った後に化学療法を行うことで、
再発を予防するあるいは再発までの期間を延長できること
がわかっています。このような治療を、**術後補助化学療法**
といいます。一般には、術後補助化学療法の対象はリンパ
節転移があるステージⅢ期の患者さんに対して、6ヶ月か
ら1年程度の期間です。





指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、消化薬や化学療法剤で、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用しましょう。

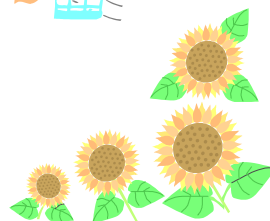
副作用がある場合には、医師に申し出て
ください。



悩んでいるのはあなただけではありません

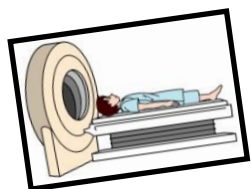
あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、**明るく、希望を持って前進し、病気をしてかえって良かったと思われるような建設的な生活を送ってください。**



術後の治療計画

○…実施予定です。



	かかりつけ医	堺市立総合医療センター	かかりつけ医	堺市立総合医療センター	かかりつけ医	堺市立総合医療センター	かかりつけ医	堺市立総合医療センター
		半年		1年		1年半		2年
	/	/	/	/	/	/	/	/
問診触診	○	○	○	○	○	○	○	○
血液検査	○	○	○	○	○	○	○	○
CT検査		○		○		○		○
大腸内視鏡				○				

<メモ>



※ 状態に合わせて検査を追加することがあります。

術後の治療計画

○…実施予定です。

	かかりつけ医	堺市立総合医療センター	かかりつけ医	堺市立総合医療センター	かかりつけ医	堺市立総合医療センター	かかりつけ医	堺市立総合医療センター
		2年半		3年		4年		5年
	/	/	/	/	/	/	/	/
問診触診	○	○	○	○	○	○	○	○
血液検査	○	○	○	○	○	○	○	○
CT検査		○		○		○		○
大腸内視鏡				○				

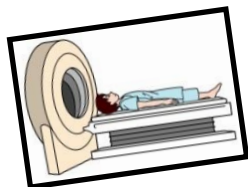


<メモ>



症状チェック表

受診の前に自覚症状のチェックを行い、この表に記入しましょう。



	かかりつけ医	堺市立総合医療センター	かかりつけ医	堺市立総合医療センター	かかりつけ医	堺市立総合医療センター	かかりつけ医	堺市立総合医療センター
		半年		1年		1年半		2年
体重	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
腹部の症状	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無
便通の異常	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無

<メモ>

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



症状チェック表

	かかりつけ医	堺市立総合医療センター	かかりつけ医	堺市立総合医療センター	かかりつけ医	堺市立総合医療センター	かかりつけ医	堺市立総合医療センター
		2年半		3年		4年		5年
体重	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
腹部の症状	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無
便通の異常	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無	☐ 有 ☐ 無

<メモ>



- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

～メモ～

・
・
・
・
・
・





堺市立総合医療センターの各部署・担当等のご案内

医療相談・看護相談窓口

患者さんが病院に対する安心感と信頼感を持って療養に専念していただけるように医療相談窓口で相談をお受けしています。また、地域がん診療連携拠点病院として、がんに関する相談もお受けしております。

また当病院に入院・通院されている患者さん・家族の方が安心して暖かな医療・看護が受けられるよう、医師または看護師などのスタッフとの連携はもとより、地域の医療・保健・福祉などの各機関と協働・連携をとりながら、より満足度の高い療養生活と充実した日々を送っていただけるように支援を行っています。

窓口開設時間： 月曜日～金曜日の9：00～16：30
(休日と年末年始を除く)

電話番号： 072-272-1199 (代表)

地域連携センター

地域連携センターでは、地域医療機関との医療連携を進め、患者さんに安心して受診していただくため、地域医療機関の先生方と当病院医師とのスムーズな連絡・連携の窓口としての役割を果たしています。
診療のご予約をお取りします。

電話番号： 072-272-1199 (代表)

医療心理相談

がんの告知後や手術前後の心理的な不安を抱える患者さん・家族に対して心理的援助を行います。医療心理相談を希望される方は医療相談窓口へお申し出ください。

ストーマ外来

ストーマ外来では、人工肛門をつけられた患者さまの皮膚のトラブルなどに対応いたします。

外来にお越しの際は、外科外来の受付で声をおかけください。

電話番号： 072-272-1199（外科外来 へ）

夜間・休日などの対応

緊急を要する場合で、休日や夜間等かかりつけ医を受診できないときは、病院までご連絡ください。

電話番号： 072-272-1199（代表）





あなたのお名前

さん

かかりつけ医

(電話

—

—

)

電話

外科

(代表)

令和3年2月